

一札之事

一 道修町三丁目鳥飼屋忠兵衛に同家鳥飼屋五郎助
家屋鋪表口三間壺尺四寸、裏行式拾間壺尺七寸三分
但壺役壺分、右家屋敷壺ヶ所持仕候処、家主五郎助
当正月病死仕候二付、親類共相談之上、実子忠兵衛名前二切替
申所実正也。然ル上は、水帳絵図張紙之儀御願上被下、
毎月三ヶ条御改之証文二、右忠兵衛家二成候段、脇書
被茂司被下候。
右家名前之儀二付、脇より違乱妨ヶ申者無御座候。
万一出入申者有之候は、此連判之者罷出、急度埒明、
御町五人組江少も御難儀掛申間候。
為後日連判証文仍如件。

道修町式丁目鳥飼屋

忠右衛門二同家

伯父 次郎作^印

天明八年申三月

同町

従弟 鳥飼屋忠右衛門^印

淡路町壺丁目鍵屋利兵衛

借家海部屋伝右衛門二同家

弟 大助^印

年寄

紙屋吉二義衛門殿

五人組中

御町中

一札

一 御町内ニテ、表口三間壺尺四寸、裏行式拾間壺尺七寸三步、但壺役壺歩、右屋敷我等所持罷在候処、此度親類一統相談之上我等名前相退、跡同店養子倅栄蔵名改宗八江相讓、名前ニ相成候処、相違無御座候間、三ヶ条御法度証文卷脇書、並びに水帳絵図張紙御願上可被下候。

一 従御公儀被為仰渡候御法度之儀は不及申、御町先格万端定之通違背為致申間敷候。

且又、御公役町役銀は勿論、其外諸出銀等無違背無為差出可申候。又右名前切替之儀ニ付、諸親類は不及申、脇より違乱妨ケ申者壺人も無御座候。

万一彼是申者出来候ハバ、判形之我等罷出急度埒明、御町内江少シ茂懸御難儀申間敷候。為後日之一札仍如件

譲り主

近江屋宗八

名改 庄蔵^印

天保十四年卯年九月

譲り請主

右同人同店養子

倅 栄蔵

名改

近江屋宗八^印

親類惣代

近江屋孫兵衛^印

右之相違無御座候二付

奥印仕候。 上

本家

近江屋幸助

代判 孫兵衛^印

道修町三丁目

年寄 紙屋忠助殿

并二 五人組中